



2020年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月9日

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 赤工 朝飛

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 2019年7月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	3,579	5.2	23		48		38	
2019年2月期第1四半期	3,774	1.1	28	219.2	41	380.1	22	

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 36百万円 (%) 2019年2月期第1四半期 41百万円 (366.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	4.35	
2019年2月期第1四半期	2.68	2.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	11,364	2,403	20.1
2019年2月期	11,318	2,308	19.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 2,286百万円 2019年2月期 2,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		1.50		1.50	3.00
2020年2月期					
2020年2月期(予想)		1.50		1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,657	2.4	2		13	10.2	2		0.22
通期	15,100	0.3	118		145	830.1	26	57.6	2.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期1Q	9,198,600 株	2019年2月期	8,975,900 株
期末自己株式数	2020年2月期1Q	200,105 株	2019年2月期	200,105 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期1Q	8,954,756 株	2019年2月期1Q	8,304,449 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性が有ります。業績予想の前提となる仮定及びご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続いてまいりましたが、米中貿易摩擦の影響など海外の政治動向は不確実性を増しており、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

外食業界におきましては、依然として消費者の節約志向が続く中で、原材料価格の上昇や人材不足による人件費関連コストの上昇も続いており、厳しい経営環境となっております。

このような環境のもと、当社グループでは、飲食事業において、「光蔵(ミツクラ)」や「Mou Mou Cafe(モーモーカフェ)」、「ほろほろ」などの新業態が好調に推移していることから、直営既存店のリニューアルに注力するとともに、「博多かわ屋」のフランチャイズ事業の推進に注力いたしました。直営店の出退店におきましては、1店舗を新規出店し、7店舗をリニューアルするとともに、1店舗を閉店いたしました。これらにより、2019年5月末日現在の業態数及び店舗数は、75業態150店舗(国内148店舗、海外2店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,579百万円(前年同期比5.2%減)、営業損失は23百万円(前年同期は営業利益28百万円)、経常損失は48百万円(前年同期は経常利益41百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は38百万円(前年同期は四半期純利益22百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

原価及び人件費のコストコントロールに注力するとともに、既存店のリニューアルに取り組みました。

新規出店といたしましては、2019年3月に「八光(ハチミツ)」(京都市中京区)を新規オープンいたしました。リニューアルでは、2019年3月に直営の飲食店ビル「G-SEVEN(ジーセブン)豊田」(愛知県豊田市)内の5店舗を一斉リニューアルし、「北海道バル MOU MOU(モーモー)」、「芋蔵GIRI(イモゾウギリ)」、「吟醸マクロ豊田店」、「金ベコ(キンベコ)」、「頂(イタダキ)」をオープンするとともに、同月に「LEAF GREENS(リーフグリーンズ)」(埼玉県志木市)を「月のうさぎ」に、5月に「PELLICANO(ペリカーノ)」(静岡市葵区)を「MOU MOU バル(モーモーバル)」にリニューアルオープンいたしました。また、「燦家(サンヤ)大曾根店」(名古屋市北区)を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は3,236百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益は150百万円(同31.4%減)となりました。

② 不動産事業

テナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS刈谷」、「jG金山」などの賃貸収入が安定的な収益に寄与いたしました。その結果、不動産事業における売上高は505百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は43百万円(同0.3%減)となりました。

③ ブライダル事業

前連結会計年度に改装いたしました名古屋ルーセントタワー別棟のレストランウェディング施設「LA ETERNITA(ラ・エテルニータ)」(名古屋市西区)を中心に受注件数の増加に取り組みました。その結果、婚礼件数が増加いたしました。当第1四半期の法人宴会が微減となったこと等により、ブライダル事業における売上高は172百万円(前年同期比3.3%減)、営業損失は0百万円(前年同期は営業利益0百万円)となりました。

④ その他の事業

販促制作事業及び卸売業等のその他の事業における売上高は229百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は5百万円(同33.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は11,364百万円(前連結会計年度末比45百万円増加)となり、負債は8,961百万円(同49百万円減少)、純資産は2,403百万円(同94百万円増加)となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で187百万円減少し1,200百万円となりました。これは、現金及び預金が328百万円減少し、売掛金が76百万円増加したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ234百万円増加し10,145百万円となりました。これは、不動産事業の設備投資等により有形固定資産が220百万円増加したことなどが主な要因であります。

繰延資産につきましては、社債発行費が前連結会計年度末に比べ1百万円減少し18百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ180百万円減少し2,689百万円となりました。これは、買掛金が52百万円、短期借入金が32百万円それぞれ増加し、1年内返済予定の長期借入金が82百万円、未払金が58百万円、未払法人税等が71百万円、それぞれ減少したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ131百万円増加し6,272百万円となりました。これは、長期借入金が131百万円増加したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、新株予約権の権利行使により資本金76百万円、資本剰余金が新株予約権の権利行使及び海外子会社株式の追加取得により70百万円それぞれ増加し、利益剰余金が52百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ94百万円増加し2,403百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、2019年4月10日に公表いたしました業績予想から現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	537,262	208,836
売掛金	334,084	410,970
商品及び製品	65,353	80,846
原材料及び貯蔵品	117,971	117,995
その他	333,470	382,027
流動資産合計	1,388,142	1,200,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,301,102	3,251,319
土地	3,825,557	3,825,557
その他(純額)	624,036	894,029
有形固定資産合計	7,750,696	7,970,906
無形固定資産		
のれん	443,360	477,743
その他	33,965	32,079
無形固定資産合計	477,326	509,823
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220	8,210
差入保証金	1,281,897	1,264,604
繰延税金資産	31,400	31,400
その他	382,324	381,603
貸倒引当金	△21,019	△21,019
投資その他の資産合計	1,682,823	1,664,799
固定資産合計	9,910,846	10,145,528
繰延資産		
社債発行費	20,005	18,632
繰延資産合計	20,005	18,632
資産合計	11,318,994	11,364,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	382,893	435,360
短期借入金	59,561	91,951
1年内返済予定の長期借入金	1,038,643	956,613
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	739,384	680,479
未払法人税等	91,893	20,165
賞与引当金	4,607	4,957
株主優待引当金	5,730	16,740
その他	527,485	463,098
流動負債合計	2,870,199	2,689,366
固定負債		
社債	350,000	340,000
長期借入金	4,600,791	4,732,740
繰延税金負債	570,536	570,530
資産除去債務	89,616	89,889
その他	529,794	539,268
固定負債合計	6,140,738	6,272,428
負債合計	9,010,937	8,961,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,338,895	1,415,838
資本剰余金	1,268,895	1,339,810
利益剰余金	△305,199	△357,293
自己株式	△76,085	△76,085
株主資本合計	2,226,505	2,322,271
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△31,555	△35,954
その他の包括利益累計額合計	△31,555	△35,954
新株予約権	11,434	9,296
非支配株主持分	101,671	107,428
純資産合計	2,308,056	2,403,042
負債純資産合計	11,318,994	11,364,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
売上高	3,774,833	3,579,003
売上原価	1,181,995	1,163,192
売上総利益	2,592,838	2,415,810
販売費及び一般管理費	2,564,048	2,439,808
営業利益又は営業損失(△)	28,789	△23,997
営業外収益		
受取利息	258	260
為替差益	—	2,582
協賛金収入	34,773	30,637
設備賃貸料	4,879	2,881
その他	12,854	7,275
営業外収益合計	52,765	43,638
営業外費用		
支払利息	18,809	17,670
為替差損	14,025	—
金利スワップ評価損	—	42,591
その他	7,417	8,337
営業外費用合計	40,252	68,599
経常利益又は経常損失(△)	41,303	△48,959
特別利益		
固定資産売却益	—	13,797
受取保険金	40,989	—
特別利益合計	40,989	13,797
特別損失		
店舗閉鎖損失	13,461	—
特別損失合計	13,461	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	68,831	△35,161
法人税等	37,336	△3,422
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,494	△31,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,220	7,190
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	22,274	△38,930

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,494	△31,739
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	10,081	△4,398
その他の包括利益合計	10,081	△4,398
四半期包括利益	41,576	△36,138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,093	△41,895
非支配株主に係る四半期包括利益	9,483	5,757

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が76,943千円、資本準備金76,943千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が1,415,838千円、資本剰余金が1,339,810千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,427,226	64,519	178,154	3,669,900	104,932	3,774,833	—	3,774,833
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	23,582	435,731	—	459,313	118,874	578,187	△578,187	—
計	3,450,808	500,251	178,154	4,129,214	223,807	4,353,021	△578,187	3,774,833
セグメント利益	218,940	43,958	821	263,721	8,126	271,847	△243,057	28,789

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△243,057千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	飲食	不動産	ブライダル	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,218,516	69,116	172,191	3,459,824	119,178	3,579,003	—	3,579,003
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,351	436,681	8	455,041	109,908	564,950	△564,950	—
計	3,236,868	505,798	172,199	3,914,866	229,087	4,143,953	△564,950	3,579,003
セグメント利益又は 損失(△)	150,300	43,832	△548	193,584	5,446	199,031	△223,028	△23,997

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△223,028千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食」セグメントにおいて、KAKEHASHI, S. L. U. の株式を取得し、子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、29,437千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より「飲食事業」に含んでおりました株式会社かわ屋インターナショナルの食材の販売に関する事業を「その他の事業」に区分しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものであり、当該変更による前第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響額は軽微であります。